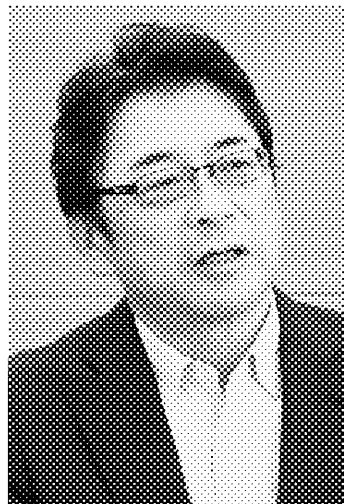


IT機器レンタル拡大

横河レンタ・リース（東京都新宿区、沢和久社長）は、2022年にパソコンをはじめとするIT機器のレンタルと管理、運用を組み合わせて企業に提供するサービス「Cotoka（コト化）」を始めた。省人化や生産性の向上につながる新サービスをテコに、主力のIT機器のレンタルを伸ばす戦略だ。足元の事業環境と今後の方針を沢社長に聞いた。

IT機器のレンタル市場でのシェアは、アは（業界首位の）オリックス・レンテックが浸透したことによって従業員1人が使ったが大分追いついてきた。コト化を始めて1年がたちました。引き合いは、「企業の人手不足を背景に23年初めからレンタルするという考えが増えた。コト化は従業員がパソコンを使う環境を提供する（主力の）パソコンの」

横河レンタ・リース社長 沢和久氏



管理も一体、省人化支援

るので（IT機器を管理する）情報システム部の業務負担が大きく軽減される。従業員が使用できるように設定したパソコンの配送や管理、ヘルプデスク、故障時の対応などをト化が担うため、情報システム部はコア業務に集中でき、デジタル

変革（DX）など重点分野に人員を充てやすくなる。コト化の採用は、「大企業を含め既に数十社が試験導入している」

台湾積体回路製造（TSMC）、ラピダス（東京都千代田区）をはじめ、半導体の生産拠点の建設が進んでいます。引き合いは、「半導体関連の工場では多くの計測器やパソコンを使用するので、大きなビジネスチャンスだと捉えています。ただ、稼働がまだ先なので受注にはもう少し時間がかかるとみ

る必要があるため、正式な採用には時間がかかっている。将来的に顧客の3割程度にコト化を採用してもらいたい」

ルが伸びているので、事業規模に合わせた。移転は選択肢の一つだ。テクニカルセンターでは検査、インターネットでは検索、インターネットなどを行うため、単なる物流センターではない。そのため、移転には5年程度は期間が必要になる

相模原市中央区にあるIT機器関連のテクニカルセンター「橋本テック」の移転を検討しています。パソコンのレンタルとみている」

コト化の導入効果明示力ギ

記者の目

経済産業省の予測によると30年に日本で不足するIT人材は最大で79万人。それだけにIT人材の生産性の向上は避けて通れない。加えて、DXをはじめとする付加価値の高い業務に経営資源を振り分けることも欠かせない。今後、コト化がこうした需要を取り込んで採用を伸ばすには、導入効果を明確に示すことがカギとなる。（石川雅基）